

播磨町にはため池がいっぱい！

東播磨地域は、全国的にも珍しい「ため池」の密集地であり、播磨町には12のため池があります。これらは、播磨町に残された貴重な自然であり、財産です。

まちの環境基本計画では、12のため池の将来像を次のように提案しています。

農業生産を支える

雨の少ない播磨町では、ため池の水が大切な農業用水として利用され、私たちの食生活を支えています。

気候を調節する

水面から水が蒸発することにより、夏の暑さの緩和に役立ちます。水辺は天然のクーラーです。

環境学習の場

ため池に生息する多様な生き物と接したり、水にかかわる学習の場となります。

ため池があると...

動植物の貴重な生息場所

都市化した地域にあって、植物や魚、トンボや渡り鳥など、多様な生き物の生息場所として大切です。

貴重なオープンスペース

広い水面があることから、市街地の中に残された貴重なオープンスペースとして、やすらぎと潤いの空間となります。

レクリエーションの場

周遊路を使った散歩やランニングコースなど、身近なレクリエーションの場として利用できます。

ため池を守る

ため池を守り育てるために、兵庫県では「ため池整備構想」に基づいた取り組みが進められています。また、播磨町では、「環境基本計画」の中で、ため池の水辺を生かしたまちづくり「小さな環境拠点」を提案しています。

この構想では、ため池は、まちの文化財であり、地域の生活に潤いをもたらす「小さな環境拠点」と定義し、ため池の保全と活用を支える新しい仕組みを作るため、水利関係者、住民団体（自治会、子ども会、PTA、老人会、婦人会）などの地域の方々が話し合い、今後の管理と活用の方針を考えていく「ため池コミュニティ」という地域住民の交流の場を提案しています。

この「小さな環境拠点」をまちづくりの核として、貴重なため池を守り育て、地域の憩いの場とし、活用していきたいものです。

播磨町「小さな環境拠点」ため池「ミニミニティ」会議

ため池を大切に守り、生かしていくために、みんなの知恵を集めて話し合いたいと思います。ため池の多様な価値や重要性を学ぶとともに、ため池について一緒に考えてみませんか。

『12のため池、みんなのため池、集まろう、知ろう、話し合おう』

日時 3月24日(日)午後1時～4時

場所 中央公民館視聴覚室

内容

ため池のおはなし

横山 孝雄氏（播磨町環境審

議事録 姫路工業大学講師）

「ため池の自然環境」

松本 修二氏（播磨ウエットランドリサーチ代表）

参加者の話し合い

「ため池のいろいろを考える」

参加申し込みは不要です。ため池にご興味のある方は、お気軽に会場へお越しください。参加者には、記念品をお渡しします。

会場では、他の地域でのため池の取り組み事例を、紹介する写真パネルなどを展示します。

共催 兵庫県東播磨県民局

問い合わせ 産業生活課

0794(35)2364

こり 狐狸ヶ池
大中遺跡と一体化した古代の池づくり



残された貴重な自然（狐狸ヶ池）

妹池
親水性のある環境学習のできる池づくり

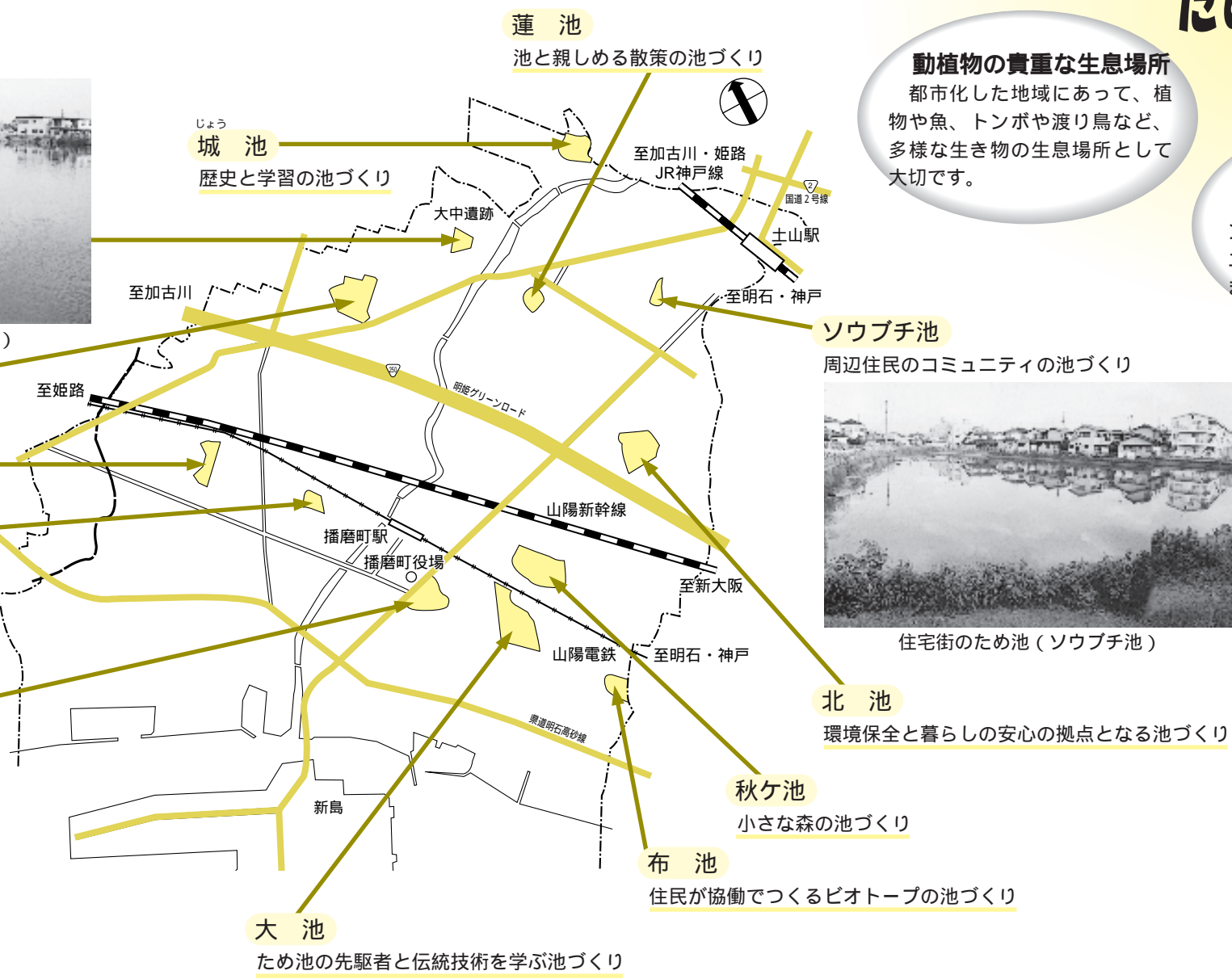
石ヶ池
防災、福祉、環境の池づくり

かみ 上の池
冒険遊具があるプレーパークの池づくり

向ヶ池
道行く人に木陰のやすらぎと潤いを与える池づくり



日なたぼっこの渡り鳥（向ヶ池）



住宅街のため池（ソウブチ池）

北池
環境保全と暮らしの安心の拠点となる池づくり

秋ヶ池
小さな森の池づくり

布池
住民が協働でつくるピオトープの池づくり

大池
ため池の先駆者と伝統技術を学ぶ池づくり